

令和2年度補正予算案（防衛省所管）の概要

防衛省計上額 **121億円**

1 医療用器材等の整備 47億円

自衛隊病院における感染者の受け入れ等に対応するため、人工呼吸器や陰圧設備など医療用器材等を整備するための経費。

- 医療用器材（人工呼吸器、陰圧設備等）の整備 42億円
- 病棟の整備（中央病院の隔離ドア設置、富士病院の非常用電源設備改修等） 4億円 等



人工呼吸器



陰圧式エアートtent

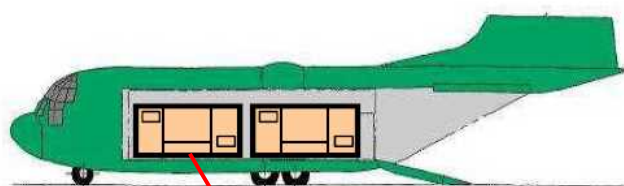
2 広域輸送用器材の整備 26億円

感染者等の輸送に必要となる救急車等や、機動衛生ユニット用の医療器材を整備するための経費。

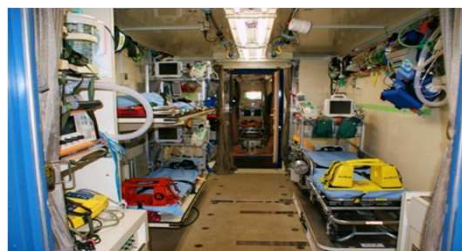
- 救急車等の車両及び器材の整備 25億円
- 機動衛生ユニット用の医療器材（人工呼吸器等）の整備 1億円

※機動衛生ユニット

航空自衛隊の輸送機に搭載し、機内での患者の治療、搬送を可能にする設備。



機動衛生ユニット



機動衛生ユニット用の医療器材（イメージ）

3 衛生用消耗品等の整備

14億円

新型コロナウイルス対応に必要な防護服等を整備するための経費。



医療支援



検疫支援

4 要隔離者の受け入れ能力の向上

33億円

バス・トイレを含む個室による隔離が必要な帰国者等の受け入れにも活用できる外来者用の隊舎を整備するための経費。

5 市中感染拡大に備えた態勢強化

1億円

職員が自宅で待機しなければならない場合にも、危機管理を担う防衛省・自衛隊が着実に業務を継続できるよう、テレワーク環境を改善するための経費。